

23

強い有理型近似性質をもつ領域について

阿部 誠*

複素空間はつねに被約かつ第 2 可算と仮定する. 複素空間 X のコンパクト集合 K について, 集合

$$\tilde{K}_X := \{x \in X \mid \text{任意の } f \in \mathcal{O}(X) \text{ に対し } f(x) \in f(K)\}$$

を K の X における有理型凸被 (meromorphically convex hull) とよぶ. 複素空間 X の開集合 D が有理型 $\mathcal{O}(X)$ -凸 (meromorphically $\mathcal{O}(X)$ -convex) とは, D 内の任意のコンパクト集合 K に対し, 集合 $\tilde{K}_X \cap D$ がコンパクトなことである.

注意 1. \mathbb{C}^n の開集合 D について, 有理型 $\mathcal{O}(\mathbb{C}^n)$ -凸 \Leftrightarrow 有理凸 (rationally convex).

定理 2 ([1]). Stein 多様体 X の開集合 D について, 次の 2 条件は同値である.

- (1) D は有理型 $\mathcal{O}(X)$ -凸である.
- (2) D は Stein であり, かつ任意の $\varphi \in \mathcal{O}(D)$, コンパクト集合 $K \subset D$, $\varepsilon > 0$ に対し, $f \in \mathcal{O}(X)$ と $g \in \text{Ac}(X)$ が存在して, K 上で $g \neq 0$ かつ $\|\varphi - (f/g)\|_K < \varepsilon$.

複素空間 X の開集合 D について, $f \in \mathcal{O}(X)$, $g \in \text{Ac}(X)$, かつ D 上で $g \neq 0$ なる $h = (f/g)|_D$ 全体を $\mathcal{Q}_X(D)$ で表す.

命題 3 ([3]). Stein 空間 X の開集合 D について, 次の 2 条件は同値である.

- (1) D は $\mathcal{Q}_X(D)$ -凸である.
- (2) D は Stein であり, かつ任意の $\varphi \in \mathcal{O}(D)$, コンパクト集合 $K \subset D$, $\varepsilon > 0$ に対し, $f \in \mathcal{O}(X)$ と $g \in \text{Ac}(X)$ が存在して, D 上で $g \neq 0$ かつ $\|\varphi - (f/g)\|_K < \varepsilon$.

次は Runge の有理近似定理の一般化である (cf. Behnke-Stein [4, Satz 13]).

命題 4 ([3]). D を 1 次元 Stein 空間 X の開集合とする. 任意の $\varphi \in \mathcal{O}(D)$, コンパクト集合 $K \subset D$, $\varepsilon > 0$ に対し, $m \in \mathcal{M}(X) \cap \mathcal{O}(D)$ が存在して, $\|\varphi - m\|_K < \varepsilon$.

一般に, 複素空間 X の開集合 D は, $\mathcal{Q}_X(D)$ -凸ならば有理型 $\mathcal{O}(X)$ -凸であるが, X が既約 Stein 空間の場合に限定しても, $\dim X \geq 2$ のとき, 逆は正しくない.

定理 5 ([3]). \mathbb{C}^n の開集合 D について, 次の包含関係が成り立つ. また, $n \geq 2$ のときは, いずれの “ \Rightarrow ” も逆は成り立たない.

$$\text{多項式凸} \stackrel{(1)}{\Rightarrow} \mathcal{R}(D)\text{-凸} \stackrel{(2)}{\Rightarrow} \mathcal{Q}_{\mathbb{C}^n}(D)\text{-凸} \stackrel{(3)}{\Rightarrow} \text{有理凸} \stackrel{(4)}{\Rightarrow} \text{Stein}$$

* 〒 862-0976 熊本市九品寺 4-24-1 熊本大学医学部保健学科

ただし, $\mathcal{R}(D) := \mathbb{C}(z_1, z_2, \dots, z_n) \cap \mathcal{O}(D)$.

逆が成り立たない例 ($n = 2$ の場合).

- (1) Hartogs の三角形 $D := \{(z_1, z_2) \mid |z_1| < |z_2| < 1\}$. Nishino [5, 6] の例.
- (2) $D := \mathbb{C}^2 \setminus S$, S は \mathbb{C}^2 の超越的既約超曲面.
- (3) $D := \mathbb{C}^* \times \mathbb{C} \setminus S$, $S := \{(z_1, z_2) \mid z_2 = e^{1/z_1}\}$.
 $D := (\Delta \times \mathbb{C}^*) \cup \left((\mathbb{C} \setminus \bar{\Delta}) \times \mathbb{C} \right)$, $\Delta := \{z \in \mathbb{C} \mid |z| < 1\}$.
- (4) Stein [8] の例. Oka [7] の例. Wermer [9] の例.

定理 6 ([2]). Stein 空間 X の開集合 D について, 次の 2 条件は同値である.

- (1) D は有理型 $\mathcal{O}(X)$ -凸である.
- (2) 各 D_v が $\mathcal{O}_X(D_v)$ -凸であるような X の開集合の単調増加列 $\{D_v\}_{v=1}^\infty$ が存在して, D はその極限である.

定理 7 ([2]). \mathbb{C}^n の (連結な) 開集合 D について, 次の 2 条件は同値である[†].

- (1) D は有理凸である.
- (2) 各 D_v が $\mathcal{R}(D_v)$ -凸であるような \mathbb{C}^n の (連結な) 開集合の単調増加列 $\{D_v\}_{v=1}^\infty$ が存在して, D はその極限である.

参考文献

- [1] Abe, M.: Meromorphic approximation theorem in a Stein space. Ann. Mat. Pura Appl. (4) **184**, 263–274 (2005)
- [2] Abe, M.: A note on the meromorphic $\mathcal{O}(X)$ -convexity. Kumamoto J. Math. **18**, 17–23 (2005)
- [3] Abe, M.: Open sets satisfying the strong meromorphic approximation property. Toyama Math. J. **29**, 7–23 (2006)
- [4] Behnke, H., Stein, K.: Entwicklung analytischer Funktionen auf Riemannschen Flächen. Math. Ann. **120**, 430–461 (1949)
- [5] Nishino, T.: Un exemple concernant la convexité par rapport aux polynômes. J. Math. Kyoto Univ. **6**, 85–90 (1966)
- [6] 西野利雄: 単連結で有理凸状であるが多項式凸状ではない例. In: 函数論分科会講演アブストラクト, 日本数学会 2003 年度年会, pp. 67–68. 東京大学 (2003)
- [7] Oka, K.: Sur les fonctions analytiques de plusieurs variables. IV – Domaines d’holomorphie et domaines rationnellement convexes. Japan. J. Math. **17**, 517–521 (1941)
- [8] Stein, K.: Topologische Bedingungen für die Existenz analytischer Funktionen komplexer Veränderlichen zu vorgegebenen Nullstellenflächen. Math. Ann. **117**, 727–757 (1941)
- [9] Wermer, J.: On a domain equivalent to the bidisk. Math. Ann. **248**, 193–194 (1980)

[†]Oka [7] では, (2) が有理凸性の定義である.